

## 中国の銀行改革と不良債権処理

- 中国では97年のアジア危機を契機に、4大国有銀行へ資本注入を行い、一部の不良債権を資産管理会社へ移管した。しかしながら、国有企業改革と時期が重なったことから銀行の不良債権比率の低下は緩やかで、現在でも20%以上となっている。資産管理会社に移管された不良債権も1.4兆元のうち3000億元の処理に留まっている。
- 2001年に中国はWTOに加盟し、2006年12月までに外銀への規制を撤廃することに合意した。このため中国の銀行改革が急務となり、改革の手法として3-5年以内の銀行の株式上場を目指している。この前提として4大国有銀行のリストラの加速、リスク管理手法の向上による収益性の向上が必要である。このところ銀行の自助努力では時間がかかるとして政府による挺入れが期待されており、自己資本の充実のため政府による出資や劣後債引受が必要と指摘されている。
- 不良債権処理については、中国人民銀行(中央銀行)は銀行の不良債権比率を2005年に15%とする目標を掲げている。不良債権の資産管理会社への移管が検討されているとの報道もあるが、モラルハザードの観点から慎重な見方もある。

**図表1 中国の銀行改革と不良債権を巡る経緯**

<b>&lt;第1段階&gt;</b>	
1994年	4大国有銀行から政策性融資を分離し、純粋な国有商業銀行へ転換
<b>&lt;第2段階&gt;</b>	
1997年	アジア危機
1998年	4大国有銀行へ総額2700億元の公的資金注入。
1999年	国有銀行の下に資産管理会社を設立し、総額1.4兆元の不良債権を移管
<b>&lt;第3段階&gt;</b>	
2001年	WTO加盟・2006年12月に外銀への規制撤廃を合意

**図表2 不良債権比率の推移 (%)**

		99年末	00年末	01年末	02年*
中国工商銀行	新分類	47.59	34.43	29.78	25.52
	旧分類	-	29.29	25.7	-
中国農業銀行	新分類	-	46.77	42.12	-
	旧分類	-	-	-	-
中国銀行	新分類	-	27.2	27.51	22.37
	旧分類	-	-	-	-
中国建設銀行	新分類	-	20.27	19.35	16.08
	旧分類	-	-	-	12.53
計	旧分類	-	29.17	25.37	20.85

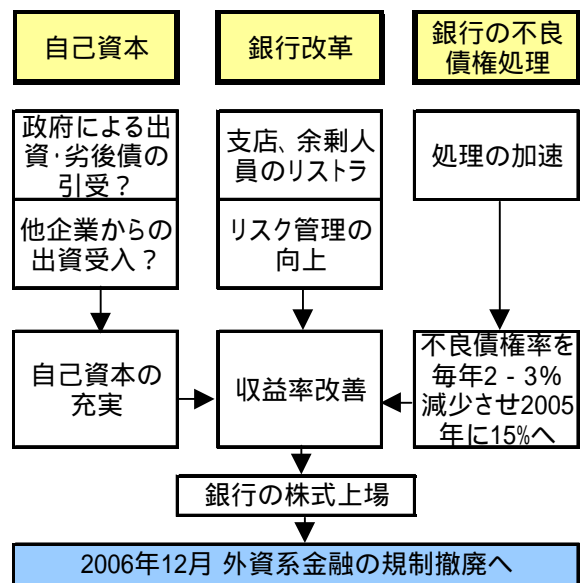
- (備考) 1. 渡邊真理子氏による資料等をもとに作成。  
 2. 旧分類は延滞期間による分類、新基準はリスクに基づく5段階評価による分類。  
 3. 02年の中国銀行、中国工商銀行は年末、中国建設銀行(新旧分類)、計は9月末。

**図表3 資産管理会社における不良債権処理**

(億元、%)

	系列国有銀行	移管した不良債権額	02年末までの累計		
			処理済簿価	回収率	現金回収率
華融資産管理公司	中国工商銀行	4,077	632	43.15	31.33
長城資産管理公司	中国農業銀行	3,458	1,060	18.75	9.26
東方資産管理公司	中国銀行	2,674	455	45.32	24.71
信達資産管理公司	中国建設銀行	3,756	868	38.7	30.69
計	-	13,965	3,014	33.61	22.39

(備考) 中国人民銀行ホームページにより作成。

**図表4 今後の銀行改革の流れ**

**[調査部(経済調査担当) 林 忠輝]**

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部

Tel: 03-3244-1840

E-mail: report@dbj.go.jp